

第10回学校給食甲子園

準優勝

12月6日、東京都豊島区の女子栄養大学駒込キャンパスで行われた全国学校給食甲子園において上小阿仁村学校給食調理場の給食が準優勝に輝きました。

この大会は全国の学校給食で提供されている郷土を代表する料理を競い、食育を啓発することと地産地消の奨励や食育推進に役立てるとともに、給食に携わる栄養教諭、学校栄養職員や調理員の目標として励みになることを目的として開催されています。

今年は全国から2,054の学校給食施設が参加し、決勝に進んだ12校（施設）は実際に調理し、その味や、見た目、作業の様子などで競われます。

応募メニューを考案した上小阿仁小学校栄養教諭の細田智子さんは「北海道・東北ブロックの代表として、全国から決勝大会への12校に選ばれただけでも光栄でしたが、準優勝という栄誉を頂けた事に心から感謝しています。上小阿仁村には素晴らしい食材がたくさんあります。これからも精進し、子どもたちが目を輝かせて喜ぶ学校給食作りを行っていきたいと思います」と話してくれました。

また、細田先生と一緒に大会に参加した村田淳子さんは「給食甲子園に向けて、沢山の皆様のご協力とご声援を頂きました。上小阿仁村の給食の味を出すことができて本当に良かったです。応援ありがとうございました」と話してくれました。

細田先生、村田さん、調理場の調理員のみなさん、おめでとうございます。



応募メニュー

